

郡山市逢瀬町地域活性化

令和5年度「集落自主活動に係る伴走支援事業」

実施期間 令和5年7月11日～令和6年2月29日

実施団体 福島大学 SEED to Dishes

連携先 郡山市逢瀬町 逢瀬いなか体験交流協議会

1. 今年度の活動

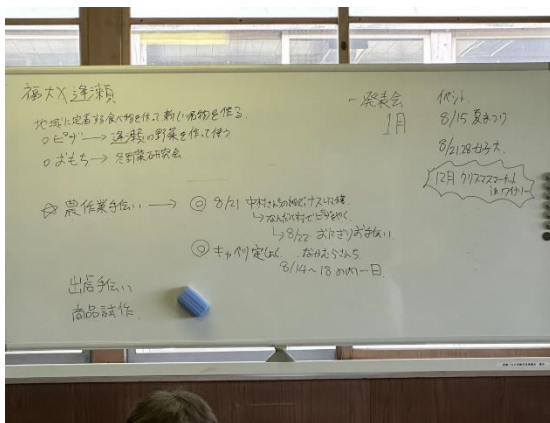
本グループでは昨年度から逢瀬町田舎体験交流協議会と連携し、地域活性化を目指して本事業を進めてきた。昨年度の活動では現地調査を主な活動とし、地域の魅力、そして課題を発見することを目標としていた。そのため、現地調査や地域のイベント（浄土松公園祭りや逢瀬ワイナリーで開催されるクリスマスマーケット等）への参加、農家民宿体験を行った。これらの活動を通して逢瀬町についての認知度が低いことが課題であることがみえてきた。逢瀬町について知ってもらうためにきっかけづくりをしていくことが重要なことであり、そのために逢瀬町の食材を活用する方向性となった。

そこで今年度の活動では逢瀬町の認知度向上・関係人口増加を目指し、逢瀬町の食材のピザを試作・販売し、より多くの人に逢瀬町とその食材について知ってもらうことを目標とした。

そのため今年度は主に以下の活動を行った。

1. なんだべ村での試作会
2. 福島大学での試作会
3. 浄土松公園祭りでの出店
4. 福大農場フェスタでの出店

下記は交流会兼話し合いを現地で行ったときの様子である。



1-1 なんだべ村での試作会

「なんだべ村」とは福島県郡山市逢瀬町にある農家民宿のことであり、畑で育てた野菜を収穫・調理し、本格的な石窯でのピザづくりや近くの里山で採った山菜をてんぷらにして食べる体験もできる。そのほか、農業体験・親子木工体験など様々な体験ができる場所となっている。



今回はこの「なんだべ村」で逢瀬町の食材を使用し、ピザの試作会を行った。この活動の目標としてはピザに適した食材を見つけることとした。いくつか試作したのち、特にズッキーニ、ジャガイモ（デストロイヤー）、ハイカラりっくん（郡山ブランド野菜のネギ）、ローズマリー、エゴマの葉が好評であり、これらの食材を中心に進めていくこととした。



1-2 福島大学での試作会

福島大学での試作会を2回行った。

一回目の試作会ではなんだべ村での試作会で好評だった食材を中心に組み合わせながら、特に食材の相性についてみていくことを目標とした。5種類ほど試作し、特に旨ナスとの相性が良く、旨ナスを中心にピザを進めていくことにした。



二回目の試作会では福島大学教授の協力のもと実際にピザ窯を使用し、主にピザ窯の使い方やピザ窯で焼いた場合の生地具合の確認を目的とした。試作会を通して思ったよりピザ生地が膨らんでしまうといった課題が見え、ピザ生地の強力粉と薄力粉の配分調整の必要性が出てきた。



1-3 浄土松公園祭りでの出店

2023年10月15日に開催された「浄土松公園祭り」は特に子供の来場者が多く、町に帰省した若い世代が集うイベントの一つとなっている。そこで若い世代にも逢瀬町の魅力を知ってもらうことを目的にピザの出店を行った。この出店に伴い、地元の企業である柳田産業のご協力のもと、所有しているキッチンカーをお借りし、販売等のアドバイスをいただく形で活動を行った。

ナスのピザとマルゲリータピザの販売を行い、お客さんからは好評であり、特にキノコとエリンギを刻んだオリジナルソースについて評価が高かった。

課題としては食材が余ったものもあり材料の見直しと焼きムラができてしまうことから生地の不均一さがあった。そのほか、SNSやビラを使った広報が不十分だったのではないかと、広報により力を入れることでさらなる集客につながる可能性があったのではという意見もあった。



(左上がキッチンカー
左下がナスのピザであり、右下がマルゲリータピザ)

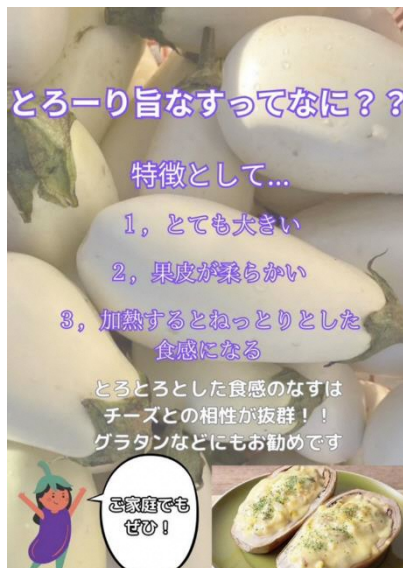
1-4 福大農場フェスタでの出店

福大農場フェスタとは福島大学生が主体となった福島大学附属農場で行う市内の小中学生を対象にした農業体験イベントのことであり、今年で第三回目の開催となり来場者数は700人にのぼった。11月中旬に行われたこの福大農場フェスタではこれまでに試作したなかで特に評価の高かった逢瀬町の旨ナスを使ったピザの販売と認知度アンケートを通して、逢瀬町や旨ナスの認知度向上を目指した。

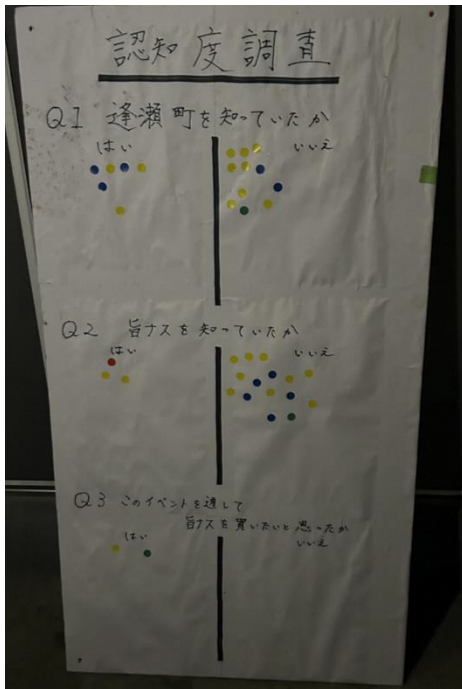
ピザの販売では合計で18枚販売した。工夫点としてより旨ナスを味わってもらうために旨ナスを入れたピザソースを手作りし、旨ナスをふんだんに使ったピザとした。

お客さんからはおいしいといった声が多く、特に旨ナスピザソースは好評だった。

また、旨ナスの魅力をより知ってもらうために下記のようなチラシを作成し、掲示することで旨ナスの宣伝活動も行った。



認知度アンケートでは三つの質問を設け、実施した。知らない人ばかりではないかという結果も予想されたが、逢瀬町や旨ナスについてまだ認知していない人が多い一方で認知している人も一定数おり、農業体験イベントに参加するにあたってその分野に興味のある人が多かったことも考えられる。ただ、認知していない人の方が大多数であり、福島市においての逢瀬町や旨ナスの認知度はまだ低いことが分かった。また、今回のアンケートでは男女で認知度に差があるのかについて調べるために色を分けて実施したが、当初の予定よりアンケート数が取れなかったこともあり、あまり違いがみられることはなかった。



福大農場フェスタを通して福島市内の小中学生、そしてその保護者に逢瀬町や旨ナスについて宣伝し、知るきっかけづくりをすることができた。

ただ、ピザの販売ではピザ窯が一つしかなく一枚ずつしか焼くことができないことから回転効率が悪く多くの来場者にピザを食べていただくことは難しかった。

2. まとめ

今年度は逢瀬町の認知度向上や関係人口増加を目指し、逢瀬町の食材を活用したピザでPRしていくことを目標としていた。今年度の成果としては主に福島市内の小中学生やその保護者に逢瀬町や旨ナスについてPRし、知るきっかけづくりができたことのほか、逢瀬の食材の魅力や活用方法について話し合うことができたことが挙げられる。

一方で課題としてはSNS広報が不十分であり、発信力が足りなかったという点がある。より力を入れることでさらに多くの人に逢瀬町の魅力が伝わり、関係人口の増加につながっていくと考える。